



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社 ムサシ 上場取引所 東
 コード番号 7521 URL <http://www.musashinet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 雅孝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 村田 進 TEL 03-3546-7710
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,177	△17.5	△8	—	37	△92.7	1	△99.6
29年3月期第1四半期	8,701	5.1	473	35.9	518	32.6	340	34.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 107百万円 (△58.5%) 29年3月期第1四半期 257百万円 (△25.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.19	—
29年3月期第1四半期	45.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	39,878	26,818	67.3
29年3月期	41,183	26,860	65.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 26,818百万円 29年3月期 26,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,916	△7.6	259	△74.1	299	△71.8	169	△75.6	22.70
通期	34,923	△1.0	604	△45.5	678	△45.4	394	△49.6	52.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	7,950,000株	29年3月期	7,950,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	506,463株	29年3月期	506,463株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	7,443,537株	29年3月期1Q	7,443,537株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調にある一方、国内外の政治・経済情勢に不確実性が高まっており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下の通りであります。

(情報・印刷・産業システム機材)

情報・産業システム機材は、スキャナー等の電子化機器の販売は順調でしたが、文書のデジタル化事業において官公庁からの受注が低調に推移いたしました。

印刷システム機材は、印刷材料の販売は概ね順調でしたが、CTP機器やPOD機器など印刷機器の販売が落ち込みました。

(金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、金融機関における貨幣処理機器の更新の遅れと、セキュリティ機器の商談遅延の影響を受けました。

選挙システム機材は、7月に実施された東京都議会議員選挙をはじめ地方選挙向けに投票用紙交付機、計数機などの機器や、投開票システム等の販売が好調に推移いたしました。

(紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、印刷用紙の販売は需要減少の影響を受けましたが、帳票用感熱記録紙の販売が伸長したため概ね順調に推移いたしました。

(不動産賃貸・リース事業等)

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高71億77百万円(前年同期比17.5%減)、営業損失8百万円(前年同期は営業利益4億73百万円)、経常利益37百万円(前年同期比92.7%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1百万円(前年同期比99.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は301億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億27百万円減少いたしました。減少の主な要因は、現金及び預金の減少(3億11百万円)、受取手形及び売掛金の減少(11億24百万円)であります。固定資産は97億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億23百万円増加いたしました。増加の主な要因は、評価益の増加にともなう投資有価証券の増加(1億13百万円)であります。

この結果、総資産は、398億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億4百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は107億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億12百万円減少いたしました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(10億83百万円)、未払法人税等の減少(2億91百万円)及び賞与引当金の減少(1億84百万円)、増加の主な要因は、電子記録債務の増加(1億93百万円)であります。固定負債は23億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円増加いたしました。増加の主な要因は、役員退職慰労引当金の増加(24百万円)、固定負債の「その他」の増加(35百万円)であります。

この結果、負債合計は、130億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億62百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は268億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円減少いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円、その他包括利益の増加1億5百万円、剰余金の配当1億48百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は67.3%(前連結会計年度末は65.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月16日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,615	19,303
受取手形及び売掛金	9,020	7,895
商品及び製品	1,555	1,613
仕掛品	77	79
原材料及び貯蔵品	759	767
その他	518	457
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	31,541	30,113
固定資産		
有形固定資産	3,290	3,278
無形固定資産	137	131
投資その他の資産	6,213	6,355
固定資産合計	9,641	9,765
資産合計	41,183	39,878
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,365	3,281
電子記録債務	2,697	2,890
短期借入金	3,516	3,516
未払法人税等	312	20
賞与引当金	379	195
その他	753	807
流動負債合計	12,023	10,711
固定負債		
退職給付に係る負債	206	197
役員退職慰労引当金	1,188	1,212
その他	903	938
固定負債合計	2,298	2,348
負債合計	14,322	13,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	23,741	23,593
自己株式	△576	△576
株主資本合計	26,378	26,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	494	574
退職給付に係る調整累計額	△12	12
その他の包括利益累計額合計	481	587
純資産合計	26,860	26,818
負債純資産合計	41,183	39,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,701	7,177
売上原価	6,659	5,649
売上総利益	2,041	1,527
販売費及び一般管理費	1,568	1,536
営業利益又は営業損失(△)	473	△8
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	29	28
貸倒引当金戻入額	2	2
持分法による投資利益	2	5
その他	12	10
営業外収益合計	55	53
営業外費用		
支払利息	8	7
その他	2	0
営業外費用合計	10	7
経常利益	518	37
税金等調整前四半期純利益	518	37
法人税、住民税及び事業税	177	19
法人税等調整額	0	17
法人税等合計	177	36
四半期純利益	340	1
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	340	1

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	340	1
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	78
退職給付に係る調整額	23	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	2
その他の包括利益合計	△83	105
四半期包括利益	257	107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	257	107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	5,152	2,044	1,450	54	8,701	—	8,701
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	54	—	68	123	△123	—
計	5,152	2,098	1,450	123	8,824	△123	8,701
セグメント利益	2	436	0	33	472	0	473

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,758	961	1,405	52	7,177	—	7,177
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	2	—	—	73	75	△75	—
計	4,760	961	1,405	126	7,253	△75	7,177
セグメント利益又は損 失(△)	△27	△16	△2	37	△9	0	△8

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。